

活 動 録

(令和5年4月～令和6年3月)

◆大橋 敦夫 (総合文化学科学科長・教授)

[論文]

- ・大橋敦夫2023〈コラム〉もうひとつの五稜郭(西洋式城郭龍岡城)と松平乗謨『信州から考える世界史』えにし書房 2 p
- ・大橋敦夫2023旧中込学校(長野県佐久市)所蔵の国語ローマ字教科書等(戦後版)について『Romazi no Nippon』675(公益財団法人日本のローマ字社) 4 p
- ・大橋敦夫2023長野県方言関係研究文献目録(稿)『ことばと文化』11(長野・言語文化研究会) 85 p
- ・大橋敦夫2024〈研究ノート〉須坂市方言関係研究文献目録 上田女子短期大学紀要第47号 7 p
- ・大橋敦夫2024千曲川の呼び名をめぐって一方言集・市町村誌・区誌の分析から― 上田女子短期大学学術研究所・所報第3号 9 p

[社会貢献]

- ・上田女子短期大学創立50周年記念事業 地域の皆様のためのオープンキャンパス／公開模擬授業「この30年の日本語」2023.10.28 於,上田女子短期大学17番教室
- ・上田女子短期大学公開講座「外から見た信州方言(その4・ファイナル)」
2024.2.10 於,まちなかキャンパスうえだ
- ・長野県国語国文学会運営委員
- ・長野・言語文化研究会事務局

[その他]

- ・NBS長野放送「みんなの信州」出演:「リンゴがぼける」についての解説2023.11.30
→NBS長野放送HP「ニュースNBS長野放送」に掲載(意味わかる? 「リンゴがぼける」 東日本と西日本で差 「食感の変化」の表現 「ぼけさせない」方法も)2023.12. 9
- ・「日本語豆知識／こぼれ話」『長野県民新聞』に連載(平成18年4月～)

◆ 関 裕子 (幼児教育学科 専任講師)

〈論文〉

・ 関 裕子 堤 裕美

「合議制会議における幼児教育・保育推進プラン審議過程に関する一考察
—会議後の保小中接続の動きに着目して—」

2024年3月上田女子短期大学所報 18頁

〈学会発表〉

・ 関 裕子

「幼児の情動的擬人化に着目した保育における飼育活動の質の背景」

2023年3月12日

第8回日本保育文化学会大会 長野県立大学

〈社会貢献〉

・ 長野県教育委員会学びの改革支援課 信州幼児教育支援センター
アドバイザーメンバー

・ 幼児教員センター会議 「保育者育成指標」作成

・ 佐久市園長会

2023年

・ 上田市保育士研修 公開保育 ちぐさ幼稚園

2023年6月16日

・ 保育士研修会 公開保育 坂井保育園

2023年6月23日

・ 子育てリフレッシュ講座 塩尻市

2023年7月4日

・ 保育士研修会 公開保育 東筑摩郡保育士会

2023年7月7日

・ 松本市保育士研修会 認定こども園ふたご

2023年8月3日

・ 子育てサポーター講座 塩尻市

8月24日

・ 上田市子育て

2023年

・ 塩尻市

・ 保育士研修会 筑北ひまわり保育園

2023年8月7日

・ 保育士キャリアアップ研修 長野県社会福祉協議会

8月8日・9日 主任保育士研修会 安曇野市公民館

8月21日・9月5日 「保育マネジメント」千曲市総合会館

- ・保育士キャリアアップ研修 「幼児教育」 長野県こども家庭課
2023年11月24日 オンライン
- ・諏訪市保育士研修会 公開保育
2023年 11月10日
- ・諏訪市保育士研修会
2023年12月23日
2024年 1月12日 長野市生涯学習センター
- ・東筑摩郡保育士研修会 2024年 1月26日 山形村保育園
- ・佐久市園長会
- ・「乳児保育」佐久市
- ・保育士研修会 筑北村教育委員会
- ・保育士キャリアアップ研修 12月16日 飯田市私立保育協会

- ・「こどものミカタフェス 第1弾 ―保育のよさを世界中へ―」ゼミナール・有志
2023年 6月11日 アリオ上田 星のコート
- ・「わくわくファミリーフェスタ」ゼミナール
2023年 7月 2日 10:00―12:00 アリオ上田 太陽のコート
- ・「こどものミカタフェス 第2弾 ―未来をつくる子どもと学問の話―」ゼミナール・有志
2023年 7月 2日 13:00―16:00 アリオ上田 太陽のコート
- ・川田学氏講演会イントロダクション
「今、養成校でできること―課題改善の試みからみえてきたこと―」学術研究所
2023年 9月 2日(土) 13:00～ 16:00 上田女子短期大学「森の教室」

- 〈その他〉
- ・信濃毎日新聞掲載「こどものミカタフェス・保育のよさを世界中へ」
2023年 6月 8日
- ・上田ケーブルテレビジョンニュース「初開催 “子ども目線”で考える子育て アリオ上田」
2023年 6月12日
- ・ウェブ電通報掲載 ラボ・レポートNo.8
【子どもの視点ラボ】大学生と高校も！こどもになってくれた
2023年12月25日 <https://dentsu-ho.com/articles/8782>

◆多田 幸子（幼児教育学科・准教授）

〈論文〉

- ・多田幸子・堤裕美・関裕子. 2023. 長野県の公営保育所における自然資源を活用した保育実践の報告. *上田女子短期大学学術研究所所報*, 第2号, 87-110.
- ・大塚美奈子・市東賢二・多田幸子. 2023. 実習日誌記録用練習シートによる誤表記の低減に対する効果：自己添削と他者添削による修正の併用を通して. *上田女子短期大学附属図書館紀要*, 第46号, 19-41.

〈論文以外の著作〉

- ・多田幸子. 2023. 行こう、保育園に。「緑と森の森林ファン」助成事業実施報告書作成委員会（編）. *いま、保育でできること：環境の充実から考えよう* (pp.5-12). 上田女子短期大学堤裕美研究室.
- ・多田幸子. 2023. 自然とかかわる保育から考える子どもの育ちを支える環境とは. *長野の子ども白書編纂委員会*（編）. *長野の子ども白書：子どもの権利条約の実効ある実現を目指して* (pp.160-161). 長野の子ども白書編纂委員会.

〈社会貢献〉

- ・菜の花こども園評議員, 山梨県：社会福祉法人菜の花
- ・学校評議員, 長野県：学校法人上田学園上田西高等学校
- ・上田地域定住自立圏共生ビジョン懇談会委員, 長野県：上田市政策企画部企画課

【学術研究所事業実施報告】

・行事名：令和五年度上田女子短期大学創立50周年記念講演会

『いま、保育でできること一個を尊び、個を超える保育共同体を目指して―』

・講 師：川田学氏（北海道大学大学院 准教授）

・日 時：2023年9月1日13：30-16：45

・場 所：上田女子短期大学森の教室

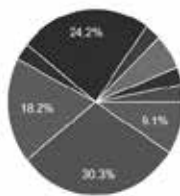
・対 象：保育・幼児教育関係者、保育幼児教育に関心のある一般の方

・参加者：100名（うちスタッフ兼任での参加者5名）

・参加者アンケートの形式：オンライン入力と筆記の混合

・参加者のアンケート回答：35件（全体の35%）

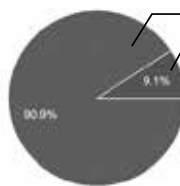
1. 本講演会をどこでお知りになりましたか。あてはまるものすべてにチェックをつけてください。
33件の回答



- 新着チラシで
- 関係者の口頭アナウンスで
- 自治体からのメールで
- 掲示されたチラシで
- 知り合いからの口伝で
- 上田女子短期大学のSNSまたはホームページで
- 園から
- 本講演会主催者のメール
- 直接お誘いを受けて

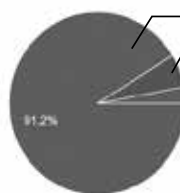
| | 人数 | % |
|------------------------|----|-------|
| 郵送チラシ | 3 | 9.1% |
| 関係者の口頭アナウンスで | 10 | 30.3% |
| 自治体からのメールで | 6 | 18.2% |
| 掲示されたチラシで | 1 | 3.0% |
| 知り合いからの口伝で | 8 | 24.2% |
| 上田女子短期大学のSNSまたはホームページで | 1 | 3.0% |
| 園から | 2 | 6.1% |
| 本講演会主催者のメール | 1 | 3.0% |
| 直接お誘いを受けて | 1 | 3.0% |
| 本門への回答者数 | 33 | |

2. 本講演会の時間帯はいかがでしたでしょうか。...もあてはまるものにチェックをつけてください。
33件の回答



- ちょうどよかった
- 良かった
- 早かった

3. 本講演の全体の長さはいかがでしたでしょうか。...もあてはまるものにチェックをつけてください。
34件の回答



- ちょうどよかった
- 良かった
- 短かった

4. 本講演の内容はいかがでしたでしょうか。もっともあてはまるものにチェックをつけてください。
34件の回答



- 興味を持って
- 興味がありすぎてなかった
- どちらでもない

※回答者の所属の内訳は公立15名、私立16名、その他1名、未回答3名

【講演会感想の一部】

●とっても興味深いお話と事例をともにしたお話だったので、共感することが多かったですし、勉強になりました。もっともっと色んなお話を聞きたかったです。

●『主体性』=『遊びの中のこと』と、肩に力が入って堅苦しく考えていましたが、先生のわかりやすい言葉で、日常の『あるある!』という事例で、とてもわかり易く肩の力が抜けた気がしました。日々の子どものやり取りの中で「自分にもできているじゃん!」と、少し自信が持てました。ありがとうございました。また月曜日からの頑張れます!

●今の子どもたちはやっぱり困難を抱えているんだと、家庭でも園でも子どもは困っている小さな傷を負っているんだと改めて切なく思いました。「自主性」については言葉が一人歩きしてしまっていて、子どもの権利条約などもあり、正直、「放任」の方向を向いた保育になっていたように感じます。給食の事例で「保育士が共に揺れている」ことが重要だとおっしゃっていた時に、「肌を離さない手を離さない目を離さない」子育ての原点を思い出しました。コロナ禍で「つながり」を絶たれていた期間の分も増し増しで、これから頑張って行こうと思いたいです。

●イタリアとの違いにも日頃から感じている疑問点や思いを感じ、多くを学びました。「主体」が「放任」や「自己決定」となりかねない危険と、自分たちの大切にしたい事を問い直す機会になりました。豊かな自分たちの地域の「コト」「モノ」「人」と子ども達が繋がる関わりを実践していきたいと思えます。

●コロナ感染が5類になって、良かったことの一つが、こうして保育に関する研修がリモートではなく、直接講師の先生のお顔を拝見ながら、先生の熱きメッセージを直接受けとれる機会が増えてきたことです。今回、川田先生がいっしょのことを知り、本当に楽しみにしておりましたが、期待通り...というより、もっともっとお話しをお聞きしたい...という思いが更に独まる大変内容の濃い講演でした。本当にありがとうございました。講演会といえば、今はパワーポイントを用いた講演が当たり前になっている中、あえて紙ベースの資料を用いたの...という先生のこだわり?にもなにか川田先生からのメッセージがあるように自分勝手に感じ、そんなところからも先生のお話を一字一句聞き逃すまいという思いで2時間久々に(笑)全身を耳にする思いで拝聴いたしました。

特に資料2、資料3の、保育事例を基にしたお話は、まさに今、自分達が未熟児保育をしている中で日々一番悩み対応の仕方を探している部分でしたので、まさに“眼から鱗”『今こうして日々悩みながら...それでも目の前にいる子ども達と一瞬一瞬真摯に向かい合っていることとして自分達の歩みを大切にしていこうこそが、子ども達の真の主体性を育む道につながっていく筈...』そんな確信が得られた気がしました。これからは、仲間の先生方にも、『いいんだよ...それで...!』そっと背中を押してあげることができそうです。

またいつか、先生のご講演を拝聴できる機会がありますことを願っております。まずは、先生のご著書から勉強させていただいたものだと思えます。こんな素晴らしい先生の講演会を開催して下さった上田女子短期大学の関係者の皆様に心から感謝致します。そして、川田先生にお電話して下さった関先生...本当にありがとうございました。先生の熱い、熱い情熱...に心からリスペクト!!です!

・当日の会場（森の教室・学生ホール）の様子：



左の写真が、森の教室での講演会の一場面。右の写真が、学生ホールにおける、長野県内保育者が書いた「保育にかける思い・メッセージ」の展示の一場面。

当日の講演会は、第一部（上田女子短期大学幼児教育学科での保育者養成）、第二部（川田学先生の講演『個人を尊重しつつ、「つながり」を育む保育の役割』）、第三部（質疑応答と総括）で構成されました。



←川田学先生*

本会のメインである第二部で登壇された特別講師の川田学先生。プレゼンテーションソフトは用いず、語り一本で二時間にわたり、100名の参加者を魅了されました。



※感染症対策のため「森の教室」はエアコン稼働状態で出入口を完全開放されていた

【参加者から現任保育者および保育者養成校在学学生へのメッセージの一部】

- 幸せであれ！
- あなたは、未来の輝きの一人です。
- 子どもたちの世界に触れることは、楽しくて幸せです！
- 保育が楽しい、という思いをたくさん経験して行ってほしいです。
- あきらめないで、つなごう、バトン。保育は楽しいです。一緒に笑いましょう！！
- 子ども向き合っていくことで気付かされることも多く、大変なこともあります素直に嬉しい、楽しいと感じられる仕事です！
- 保育はこんなに素敵な仕事！楽しんでいきましょう！！楽しいです！！日々勉強！！これからの時代 必要な人材です。
- さびしい保育現場や重労働ですが、ほこりを持って明るく楽しく保育をしていきましょう。保育は、人間を育てる重要な大切な必要な仕事です。私はこの仕事をしていることをほこりに思っています。
- ”毎日、本当に頑張っていると思います。自分を褒めて、認めてください。保育の仕事は、毎日ドラマがあります。そして自分の人生の中で、終わりが無いというか全て繋がっている気がします。楽しいこと、発見、ワクワクを見つけていって欲しいです。
- 人を育てる素晴らしい仕事。保育の専門性はやはり特別で、子どもを愛し、子どもの人として必要で大切なものを最大限に伸ばせる誇れる仕事。一緒に未来ある子どもたちの育ちに関わる仕事をしましょう！
- 人間の全ての土台となる、大切な時期のこども達をより良く育てていく仕事は未来作りだと思います。私たちの仕事が、20年後、30年後のより良い社会づくりに貢献しています。その事実を保育士がもっと自覚し、社会にも伝えていきたいですね！一緒に頑張りましょう！
- 保育士は本当に大変な仕事だと思いますが、子どもたちのかわいさや楽しさ、おもしろさを感じることができ、子どもたちと一緒に自分も成長できるステキな仕事です。がんばれば、がんばった分だけ子どもたちが返してくれる、そんな仕事他にはないと思っています。保育士として働いている方は、これからも一緒にがんばりましょう！そしてこれから保育士になる方、ぜひ待ってます！

・参考資料： 長野県内の公立・私立保育所/幼稚園/認定こども園他に配布した広報用チラシ
表面)

これまで、これからも、
保育に夢中なすべての人へ

「いま、保育のできること」
一園を暮び、園を超える保育共同体をめざしてー

日時 9月2日(土) 13:30~16:45 (受付 13:00~)

会場 上田女子短期大学 ※無料駐車場あり

定員 先着200名 ※定員超過あり

特別講師 川田学氏

裏面)

参加費 無料

「いま、保育のできること」
一園を暮び、園を超える保育共同体をめざしてー

現代の子どもの育ちの課題を解決する糸口は保育に、
そして、保育に夢中で携わってきたひとびとの中にある！

本講演の特別講師、川田学先生によれば「保育というものは、目の前で起こった問題に
対して、子どもや家族の暮らしを守るために集団で向き合っていく」ものであり、
「大人の常識が通用しない」とも「除却(イデオロギ)はしない」などおっしゃる。そんな
そんな保育をいまだからこそ、子どもの健康と教育にかかわるひとたちの目線
である川田先生と見つめ直し、あらためて夢中になる準備をしましょう。

日時 9月2日(土) ※部分的に参加も歓迎です。
13:30~16:45 (受付 13:00~)

会場 上田女子短期大学 ※無料駐車場あり

定員 先着200名 ※定員超過あり

申し込み方法 Googleフォームにてお申し込みください。
申込用紙は、QRコードからダウンロードしてください。

申込締切 8月25日(金)16:00まで
この締切を過ぎると、申し込みができません。
お申し込みをご連絡ください。

お問い合わせ 上田女子短期大学 学務研究科
- 受付時間: 10:00~17:00(土曜) 10:00~16:00(日)
- FAX: 0268-26-7215 (内線)
- メール: gsk@upstu.ac.jp

13:30 開演・導入
「保育人を追い求めてー長野県内の保育を変えるこころの紹介」
講師: 上田女子短期大学幼児教育学科 准教授 山田 幸子
専任講師 関 裕子

14:30 講演
「個人を尊重しつつ、「つながり」を育む保育の役割」
特別講師: 北海道大学大学院 教育学研究科 准教授 川田 学氏

16:30 参加者懇話会
16:45 総括・閉演

上田女子短期大学